

申請先: 財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「公開用DB方式の統合DB製品」PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号: ★APPLICで記載

※赤字部分は、V2.2からV2.4の変更箇所、青字部分は、V2.4からV2.5の変更部分をしめす。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0010-2010

- ・プラットフォーム通信標準仕様V2.1
- ・アーキテクチャ標準仕様V2.1
- ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.3

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日):

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

(c) 申請者

団体名: ★識別キー項目1
 団体のURL:
 APPLIC会員番号: (識別キー項目3つでユニークになるように申請者が指定する)

(d) 製品情報

製品説明のURL: ★識別キー項目2
 代表製品名:
 複数製品で構成する場合追記:
 複数製品で構成する場合追記:
 複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等): ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日):

対応OS:

製品の形態((1)型から(3)型):

全て同一提供者
(PF通信内部実装型)

**統合DB製品
(サービスIF処理)
(PF通信処理)**

(1)型

全て同一提供者
(製品分離型)

**統合DB製品
(サービスIF処理)**
PF通信製品

(2)型

Y社製品を
前提製品として申請

**統合DB製品
(サービスIF処理)**
Y社PF通信製品

(3)型

前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名: ※1
 前提PF通信製品名: ※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3) PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※: 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること
 ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する) ↓

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	サイト内		
		必須/ 選択	製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	
1-1	HTTP通信(IPv4、HTTP1.1)を行えること (CS-R020001、CS-R020002)	必須	◎	
1-2	SOAP通信(SOAP1.1、document/literal、WS-I `ンタフェースプロファイル1.0)を行えること (CS-R020003、CS-R020004)	必須	◎	
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-4	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-5	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターン1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること (CS-R060002、CS-R060005、CS-R060009)	必須	◎	

【付録3】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト：「サービス基盤」

2	アーキテクチャ標準仕様「統合DB機能」における、公開用DB方式の機能要件を満たす	必須	◎	
2-1	利用I/Fとして、1つ以上の業務ユニットインタフェース標準を実装していること (AS-R045403) ※ 下記の業務ユニットのうちインタフェース標準を実装しているものについて○を記入 (■但し、4 選挙人名簿管理、19 健康管理、20 就学、21 戸籍、51 庶務事務は、他の業務 ユニットからデータ連携(SOAP呼び出し)により参照されるデータを所管しないため、対象外と する)	必須	◎	
	1 住民基本台帳	選択		
	2 印鑑登録	選択		
	3 外国人登録	選択		
	4 選挙人名簿管理(■)			
	5 固定資産税	選択		
	6 個人住民税	選択		
	7 法人住民税	選択		
	8 軽自動車税	選択		
	9 収滞納管理	選択		
	10 国民健康保険	選択		
	11 国民年金	選択		
	12 障害者福祉	選択		
	13 後期高齢者医療	選択		
	14 介護保険	選択		
	15 児童手当	選択		
	16 生活保護	選択		
	17 乳幼児医療	選択		
	18 ひとり親医療	選択		
	19 健康管理(■)			
	20 就学(■)			
	21 戸籍(■)			
	22 子ども手当	選択		
	30 住登外管理	選択	○	
	50 財務会計	選択		
	51 庶務事務(■)			
	52 人事給与	選択		
	53 文書管理	選択		
2-2	利用I/Fとして、SQLによるインタフェースを提供していること (AS-R045404)	選択		
2-3	提供側業務ユニットに対し、統合DBのDB更新機能(PUSH型データ提供機能)としてSOAP またはSQLのインタフェースを提供していること (AS-R045405)	必須	◎	
2-4	統合DBと業務ユニットの間で交換されるデータの文字コードとしてPF標準(UTF-8または16) を使用できること (AS-R045407)	選択	◎	
2-5	外字を扱えること (AS-R045408)	必須	◎	
備考欄(前提事項や制限事項)				
(補足)				
・2-1: 提供側を住民基本台帳、利用側を住登外管理として業務ユニットインタフェース標準の実装を確認				